

令和 6 年度 病院事業決算状況

都道府県名 茨城県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	中央病院	2
-	こころの医療センター	3
-	こども病院	4
北茨城市	北茨城市民病院	5
笠間市	笠間市立病院	6
筑西市	筑西市民病院	7
桜川市	さくらがわ地域医療センター	8
東海村	東海病院	9

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名 茨城県	
市町村・組合名					
病院名	中央病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	35,844 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	36	指定病院の状況	救臨がへ災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	475	73.2	69.9	70.6
療養	-	-	-	-
結核	25	9.8	0.4	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	500	70.0	66.4	67.1
平均在院日数(一般病床のみ)		11.7	11.7	12.4

設立団体の状況	
人口(人)	2,867,009
決算規模(千円)	1,228,516,378
標準財政規模(千円)	685,897,219
財政力指数	0.63608
経常収支比率(%)	95.1
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	9.6
将来負担比率(%)	157.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	19,362,691			
1 経常収益	19,359,301			
(1) 医業収益	16,202,996			
(うち修正医業収益)	15,960,707			
入院収益	9,776,643			
外来収益	6,018,305			
診療収入計	15,794,948			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	408,048			
(うち他会計負担金)	242,289			
(2) 医業外収益	3,156,305			
(うち国・都道府県補助金)	43,636			
(うち他会計補助・負担金)	2,205,434			
(うち長期前受金戻入)	488,655			
(うち資本費繰入収益)	185,074			
(3) 特別利益	3,390			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	20,817,513			
2 経常費用	20,814,599			
(1) 医業費用	19,851,853			
職員給与費	10,482,469	64.7	60.8	53.3
材料費	5,566,099	34.4	27.1	33.0
(うち薬品費)	3,566,252	22.0	14.8	18.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,885,616	11.6	11.8	14.1
減価償却費	954,164	5.9	8.6	7.4
経費	2,773,301	17.1	22.0	17.2
(うち委託料)	1,595,332	9.8	11.8	10.2
研究研修費	44,499			
資産減耗費	31,321			
(2) 医業外費用	962,746			
(うち支払利息)	19,358	0.1	0.9	0.7
(3) 特別損失	2,914			
経常損益	-1,455,298			
純損益	-1,454,822			
累積欠損金	-			
経常収支比率	93.0		93.0	94.3
医業収支比率	81.6		83.9	89.6
修正医業収支比率	80.4		81.0	87.6
他会計繰入金対経常収益比率	12.6		12.2	7.6
他会計繰入金対医業収益比率	15.1		14.3	8.5
他会計繰入金対総収益比率	12.6		12.3	7.6
実質収益対経常費用比率	81.2		81.6	87.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	30,725,383
1 固定資産	19,121,281
(1) 有形固定資産	18,681,423
(2) 無形固定資産	4,723
(3) 投資その他の資産	435,135
2 流動資産	11,604,102
(1) 現金及び預金	6,901,081
(2) 未収金及び未収収益	4,647,318
(3) 貸倒引当金()	61,533
(4) 貯蔵品	117,236
3 繰延資産	-
負債合計	16,697,675
1 固定負債	8,444,189
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,944,717
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,823,302
(6) リース債務	676,170
2 流動負債	4,159,820
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,135,491
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	742,764
(6) リース債務	338,045
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,823,808
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,093,666
(1) 長期前受金	18,774,082
(2) 長期前受金収益化累計額()	14,680,416
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	14,027,708
1 本金	14,854,189
2 剰余金	-826,481
(1) 資本剰余金	202,135
(2) 利益剰余金	-1,028,616
負債・資本合計	30,725,383
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,282,223	2,447,723
資本勘定繰入	474,316	474,316
計	2,756,539	2,922,039

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	14.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		茨城県	
市町村・組合名			
病院名	こころの医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	16,917 m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	4	指定病院の状況	臨 災
許可公営企業		看護配置	15:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	精神病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	276	68.9	71.3	67.5
感染症	-	-	-	-
計	276	68.9	71.3	67.5
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,867,009	
決算規模(千円)	1,228,516,378	
標準財政規模(千円)	685,897,219	
財政力指数	0.63608	
経常収支比率(%)	95.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.6
	将来負担比率(%)	157.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,982,844			
1 経常収益	3,978,920			
(1) 医業収益	2,898,961			
(うち修正医業収益)	2,552,420			
入院収益	1,994,116			
外来収益	545,354			
診療収入計	2,539,470			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	359,491			
(うち他会計負担金)	346,541			
(2) 医業外収益	1,079,959			
(うち国・都道府県補助金)	15,529			
(うち他会計補助・負担金)	885,486			
(うち長期前受金戻入)	124,091			
(うち資本費繰入収益)	18,326			
(3) 特別利益	3,924			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,098,259			
2 経常費用	4,059,875			
(1) 医業費用	3,911,787			
職員給与費	2,874,436	99.2	60.8	108.5
材料費	157,118	5.4	27.1	9.4
(うち薬品費)	124,811	4.3	14.8	6.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	32,307	1.1	11.8	1.4
減価償却費	228,868	7.9	8.6	12.6
経費	639,446	22.1	22.0	34.8
(うち委託料)	372,210	12.8	11.8	15.4
研究研修費	10,246			
資産減耗費	1,673			
(2) 医業外費用	148,088			
(うち支払利息)	39,266	1.4	0.9	2.1
(3) 特別損失	38,384			
経常損益	-80,955			
純損益	-115,415			
累積欠損金	3,307,916			
経常収支比率	98.0		93.0	95.5
医業収支比率	74.1		83.9	60.3
修正医業収支比率	65.2		81.0	57.7
他会計繰入金対経常収益比率	31.0		12.2	35.6
他会計繰入金対医業収益比率	42.5		14.3	58.4
他会計繰入金対総収益比率	30.9		12.3	35.3
実質収益対経常費用比率	67.7		81.6	61.5

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	30,725,383
1 固定資産	19,121,281
(1) 有形固定資産	18,681,423
(2) 無形固定資産	4,723
(3) 投資その他の資産	435,135
2 流動資産	11,604,102
(1) 現金及び預金	6,901,081
(2) 未収金及び未収収益	4,647,318
(3) 貸倒引当金()	61,533
(4) 貯蔵品	117,236
3 繰延資産	-
負債合計	16,697,675
1 固定負債	8,444,189
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,944,717
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,823,302
(6) リース債務	676,170
2 流動負債	4,159,820
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,135,491
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	742,764
(6) リース債務	338,045
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,823,808
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,093,666
(1) 長期前受金	18,774,082
(2) 長期前受金収益化累計額()	14,680,416
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	14,027,708
1 本金	14,854,189
2 剰余金	-826,481
(1) 資本剰余金	202,135
(2) 利益剰余金	-1,028,616
負債・資本合計	30,725,383
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,088,934	1,232,027
資本勘定繰入	102,938	102,938
計	1,191,872	1,334,965

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	14.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				茨城県	
市町村・組合名					
病院名					
こども病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	I未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	13,503 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	20	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	115	84.8	76.5	78.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	115	84.8	76.5	78.3
平均在院日数(一般病床のみ)		10.5	9.9	11.6

設立団体の状況		
人口(人)	2,867,009	
決算規模(千円)	1,228,516,378	
標準財政規模(千円)	685,897,219	
財政力指数	0.63608	
経常収支比率(%)	95.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.6
	将来負担比率(%)	157.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,468,810			
1 経常収益	1,468,809			
(1) 医業収益	56,928			
(うち修正医業収益)	8,489			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	56,928			
(うち他会計負担金)	48,439			
(2) 医業外収益	1,411,881			
(うち国・都道府県補助金)	25,856			
(うち他会計補助・負担金)	1,056,717			
(うち長期前受金戻入)	198,896			
(うち資本費繰入収益)	111,313			
(3) 特別利益	1			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,404,269			
2 経常費用	1,404,203			
(1) 医業費用	1,335,555			
職員給与費	285,898	502.2	60.8	69.3
材料費	-	-	27.1	18.4
(うち薬品費)	-	-	14.8	8.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	9.1
減価償却費	357,289	627.6	8.6	10.8
経費	675,313	1186.3	22.0	29.9
(うち委託料)	41,156	72.3	11.8	13.7
研究研修費	3			
資産減耗費	17,052			
(2) 医業外費用	68,648			
(うち支払利息)	11,434	20.1	0.9	1.0
(3) 特別損失	66			
経常損益	64,606			
純損益	64,541			
累積欠損金	-			
経常収支比率	104.6		93.0	91.6
医業収支比率	4.3		83.9	77.4
修正医業収支比率	0.6		81.0	73.2
他会計繰入金対経常収益比率	75.2		12.2	17.7
他会計繰入金対医業収益比率	1941.3		14.3	22.2
他会計繰入金対総収益比率	75.2		12.3	17.9
実質収益対経常費用比率	25.9		81.6	75.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	30,725,383
1 固定資産	19,121,281
(1) 有形固定資産	18,681,423
(2) 無形固定資産	4,723
(3) 投資その他の資産	435,135
2 流動資産	11,604,102
(1) 現金及び預金	6,901,081
(2) 未収金及び未収収益	4,647,318
(3) 貸倒引当金()	61,533
(4) 貯蔵品	117,236
3 繰延資産	-
負債合計	16,697,675
1 固定負債	8,444,189
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,944,717
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,823,302
(6) リース債務	676,170
2 流動負債	4,159,820
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,135,491
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	742,764
(6) リース債務	338,045
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,823,808
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,093,666
(1) 長期前受金	18,774,082
(2) 長期前受金収益化累計額()	14,680,416
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	14,027,708
1 本金	14,854,189
2 剰余金	-826,481
(1) 資本剰余金	202,135
(2) 利益剰余金	-1,028,616
負債・資本合計	30,725,383
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,100,998	1,105,156
資本勘定繰入	267,624	267,624
計	1,368,622	1,372,780

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	14.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		茨城県	
市町村・組合名	北茨城市		
病院名	北茨城市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	13,783 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	15	指定病院の状況	救臨 へ 輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	100床以上～200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	137	72.1	69.4	60.3
療養	46	57.3	54.0	68.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	183	68.3	65.5	62.3
平均在院日数(一般病床のみ)		18.8	17.7	14.8

設立団体の状況		
人口(人)	41,801	
決算規模(千円)	19,971,300	
標準財政規模(千円)	11,209,981	
財政力指数	0.68	
経常収支比率(%)	97.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.9
	将来負担比率(%)	102.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,422,806			
1 経常収益	3,422,806			
(1) 医業収益	3,069,702			
(うち修正医業収益)	2,915,649			
入院収益	1,512,330			
外来収益	1,250,698			
診療収入計	2,763,028			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	306,674			
(うち他会計負担金)	154,053			
(2) 医業外収益	353,104			
(うち国・都道府県補助金)	3,947			
(うち他会計補助・負担金)	126,691			
(うち長期前受金戻入)	64,683			
(うち資本費繰入収益)	118,835			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,935,603			
2 経常費用	3,935,603			
(1) 医業費用	3,783,221			
職員給与費	2,118,822	69.0	60.8	69.3
材料費	406,904	13.3	27.1	18.4
(うち薬品費)	180,759	5.9	14.8	8.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	178,887	5.8	11.8	9.1
減価償却費	365,971	11.9	8.6	10.8
経費	886,641	28.9	22.0	29.9
(うち委託料)	377,955	12.3	11.8	13.7
研究研修費	2,365			
資産減耗費	2,518			
(2) 医業外費用	152,382			
(うち支払利息)	32,264	1.1	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	-512,797			
純損益	-512,797			
累積欠損金	2,096,514			
経常収支比率	87.0		93.0	91.6
医業収支比率	81.1		83.9	77.4
修正医業収支比率	77.1		81.0	73.2
他会計繰入金対経常収益比率	8.2		12.2	17.7
他会計繰入金対医業収益比率	9.1		14.3	22.2
他会計繰入金対総収益比率	8.2		12.3	17.9
実質収益対経常費用比率	79.8		81.6	75.4

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	6,604,242
1 固定資産	5,417,816
(1) 有形固定資産	5,149,617
(2) 無形固定資産	13,592
(3) 投資その他の資産	254,607
2 流動資産	1,186,426
(1) 現金及び預金	257,535
(2) 未収金及び未収収益	908,395
(3) 貸倒引当金()	79
(4) 貯蔵品	16,282
3 繰延資産	-
負債合計	5,399,353
1 固定負債	3,183,289
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,109,814
(2) その他の企業債	43,404
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	639,621
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	264,517
(2) その他の企業債	57,903
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	144,731
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	146,199
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,576,443
(1) 長期前受金	2,795,666
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,219,223
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,204,889
1 資本金	3,026,683
2 剰余金	-1,821,794
(1) 資本剰余金	274,720
(2) 利益剰余金	-2,096,514
負債・資本合計	6,604,242
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	488,237	280,744
資本勘定繰入	118,835	151,155
計	607,072	431,899

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	68.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		茨城県	
市町村・組合名	笠間市		
病院名	笠間市立病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	2,670 m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	2	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	30	87.2	85.4	85.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	30	87.2	85.4	85.6
平均在院日数(一般病床のみ)		29.2	30.8	30.1

設立団体の状況		
人口(人)	73,173	
決算規模(千円)	35,019,280	
標準財政規模(千円)	20,036,322	
財政力指数	0.59	
経常収支比率(%)	91.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.9
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	894,067			
1 経常収益	894,067			
(1) 医業収益	816,197			
(うち修正医業収益)	769,666			
入院収益	313,162			
外来収益	312,134			
診療収入計	625,296			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	190,901			
(うち他会計負担金)	46,531			
(2) 医業外収益	77,870			
(うち国・都道府県補助金)	96			
(うち他会計補助・負担金)	65,610			
(うち長期前受金戻入)	8,242			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	984,038			
2 経常費用	984,038			
(1) 医業費用	924,226			
職員給与費	529,960	64.9	60.8	92.5
材料費	137,625	16.9	27.1	14.2
(うち薬品費)	110,726	13.6	14.8	7.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	19,598	2.4	11.8	5.8
減価償却費	72,225	8.8	8.6	13.4
経費	180,748	22.1	22.0	47.6
(うち委託料)	87,825	10.8	11.8	23.6
研究研修費	357			
資産減耗費	3,311			
(2) 医業外費用	59,812			
(うち支払利息)	1,698	0.2	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損失	-89,971			
純損失	-89,971			
累積欠損金	152,828			
経常収支比率	90.9		93.0	95.6
医業収支比率	88.3		83.9	59.3
修正医業収支比率	83.3		81.0	54.4
他会計繰入金対経常収益比率	12.5		12.2	36.9
他会計繰入金対医業収益比率	13.7		14.3	63.1
他会計繰入金対総収益比率	12.5		12.3	36.8
実質収益対経常費用比率	79.5		81.6	60.3

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,466,075
1 固定資産	1,029,288
(1) 有形固定資産	1,029,243
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	45
2 流動資産	436,787
(1) 現金及び預金	167,899
(2) 未収金及び未収収益	258,097
(3) 貸倒引当金()	10
(4) 貯蔵品	10,801
3 繰延資産	-
負債合計	1,073,923
1 固定負債	849,146
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	849,146
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	140,995
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	48,290
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	30,089
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	62,039
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	83,782
(1) 長期前受金	152,428
(2) 長期前受金収益化累計額()	68,646
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	392,152
1 本金	544,980
2 剰余金	-152,828
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-152,828
負債・資本合計	1,466,075
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	45,362	112,141
資本勘定繰入	51,792	51,792
計	97,154	163,933

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	18.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		茨城県	
市町村・組合名	筑西市		
病院名	筑西市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上～200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	100,753	
決算規模(千円)	47,863,753	
標準財政規模(千円)	26,624,777	
財政力指数	0.65	
経常収支比率(%)	94.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.6
	将来負担比率(%)	58.5

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	24,058			
1 経常収益	24,058			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	24,058			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	24,058			
2 経常費用	24,058			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.8	69.3
材料費	-	-	27.1	18.4
(うち薬品費)	-	-	14.8	8.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	9.1
減価償却費	-	-	8.6	10.8
経費	-	-	22.0	29.9
(うち委託料)	-	-	11.8	13.7
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	24,058			
(うち支払利息)	24,058	-	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		93.0	91.6
医業収支比率	-		83.9	77.4
修正医業収支比率	-		81.0	73.2
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.2	17.7
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.3	22.2
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	17.9
実質収益対経常費用比率	100.0		81.6	75.4

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		茨城県	
市町村・組合名	桜川市		
病院名	さくらがわ地域医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	10,536 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	10	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	80	56.3	54.8	49.8
療養	48	96.8	96.7	94.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	128	71.5	70.5	66.4
平均在院日数(一般病床のみ)		12.5	12.5	17.5

設立団体の状況		
人口(人)	39,122	
決算規模(千円)	21,107,074	
標準財政規模(千円)	12,121,546	
財政力指数	0.46	
経常収支比率(%)	90.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.1
	将来負担比率(%)	22.5

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	515,340			
1 経常収益	515,340			
(1) 医業収益	6,632			
(うち修正医業収益)	6,632			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	6,632			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	508,708			
(うち国・都道府県補助金)	423			
(うち他会計補助・負担金)	228,482			
(うち長期前受金戻入)	255,159			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	515,340			
2 経常費用	515,340			
(1) 医業費用	471,708			
職員給与費	-	-	60.8	69.3
材料費	-	-	27.1	18.4
(うち薬品費)	-	-	14.8	8.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	9.1
減価償却費	331,230	4994.4	8.6	10.8
経費	140,478	2118.2	22.0	29.9
(うち委託料)	122,498	1847.1	11.8	13.7
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	43,632			
(うち支払利息)	22,907	345.4	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		93.0	91.6
医業収支比率	1.4		83.9	77.4
修正医業収支比率	1.4		81.0	73.2
他会計繰入金対経常収益比率	44.3		12.2	17.7
他会計繰入金対医業収益比率	3445.1		14.3	22.2
他会計繰入金対総収益比率	44.3		12.3	17.9
実質収益対経常費用比率	55.7		81.6	75.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	5,266,961
1 固定資産	4,392,201
(1) 有形固定資産	4,374,484
(2) 無形固定資産	17,717
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	874,760
(1) 現金及び預金	518,403
(2) 未収金及び未収収益	356,357
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	5,219,414
1 固定負債	3,740,494
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,739,494
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	191,451
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	183,750
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	7,701
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,287,469
(1) 長期前受金	2,570,171
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,282,702
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	47,547
1 資本金	13,951
2 剰余金	33,596
(1) 資本剰余金	30,185
(2) 利益剰余金	3,411
負債・資本合計	5,266,961
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	228,482	228,482
資本勘定繰入	121,829	121,829
計	350,311	350,311

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				茨城県	
市町村・組合名	東海村				
病院名	東海病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	7,202 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	7	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	40	73.8	75.3	74.9
療養	40	78.8	82.7	78.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	80	76.3	79.0	76.9
平均在院日数(一般病床のみ)		14.7	14.7	14.3

設立団体の状況		
人口(人)	37,891	
決算規模(千円)	22,003,828	
標準財政規模(千円)	11,924,085	
財政力指数	1.36	
経常収支比率(%)	99.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	2.1
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	339,010			
1 経常収益	339,010			
(1) 医業収益	6,442			
(うち修正医業収益)	6,442			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	6,442			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	332,568			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	317,120			
(うち長期前受金戻入)	10,674			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	360,688			
2 経常費用	360,688			
(1) 医業費用	317,542			
職員給与費	7,007	108.8	60.8	82.0
材料費	-	-	27.1	14.2
(うち薬品費)	-	-	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	6.1
減価償却費	182,228	2828.7	8.6	12.5
経費	127,216	1974.8	22.0	34.4
(うち委託料)	7,740	120.1	11.8	16.9
研究研修費	-			
資産減耗費	1,091			
(2) 医業外費用	43,146			
(うち支払利息)	18,670	289.8	0.9	1.2
(3) 特別損失	-			
経常損失	-21,678			
純損失	-21,678			
累積欠損金	155,309			
経常収支比率	94.0		93.0	93.1
医業収支比率	2.0		83.9	69.6
修正医業収支比率	2.0		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	93.5		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	4922.7		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	93.5		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	6.1		81.6	68.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	4,391,557
1 固定資産	2,943,314
(1) 有形固定資産	2,937,700
(2) 無形固定資産	80
(3) 投資その他の資産	5,534
2 流動資産	1,448,243
(1) 現金及び預金	1,445,767
(2) 未収金及び未収収益	759
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	1,104,237
1 固定負債	773,119
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	773,119
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	76,403
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	75,648
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	755
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	254,715
(1) 長期前受金	504,609
(2) 長期前受金収益化累計額()	249,894
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	3,287,320
1 資本金	3,442,243
2 剰余金	-154,923
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-154,923
負債・資本合計	4,391,557
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	124,027	317,120
資本勘定繰入	-	-
計	124,027	317,120

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	2410.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。